

なん と し みん びょう いん
南砺市民病院

2020年版



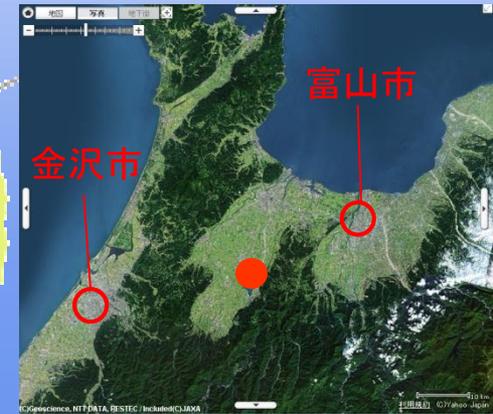
<http://shiminhp.city.nanto.toyama.jp/>

1. 南砺市と市民病院の概要

南砺市民病院

南砺家庭・地域医療センター

公立南砺中央病院



南砺市(4町4村が合併)

人口:約52,000(高齢化率:約36%)

ほとんどが北部に集中する。南部は山岳地域で農林業と合掌造り集落やスキー場などの観光資源。

富山市街まで車で30~40分
金沢市街まで車で30~40分

病院の概要

- **病床数 175床** (7対1急性期96床・回復期リハ36床・地域包括病棟43床)

- **診療科(25診療科)**

内科、消化器内科、呼吸器内科、糖尿病・代謝・内分泌内科、腎臓内科(人工透析)、循環器内科、血液内科、外科、消化器外科、肛門外科、小児外科、整形外科、眼科、泌尿器科、小児科、リハビリテーション科、皮膚科、婦人科、耳鼻いんこう科、脳神経外科、精神科、心療内科、放射線科、病理診断科、歯科口腔外科

- **常勤医(令和2年5月)**

初期研修医4名(基幹型4)、後期研修医4名

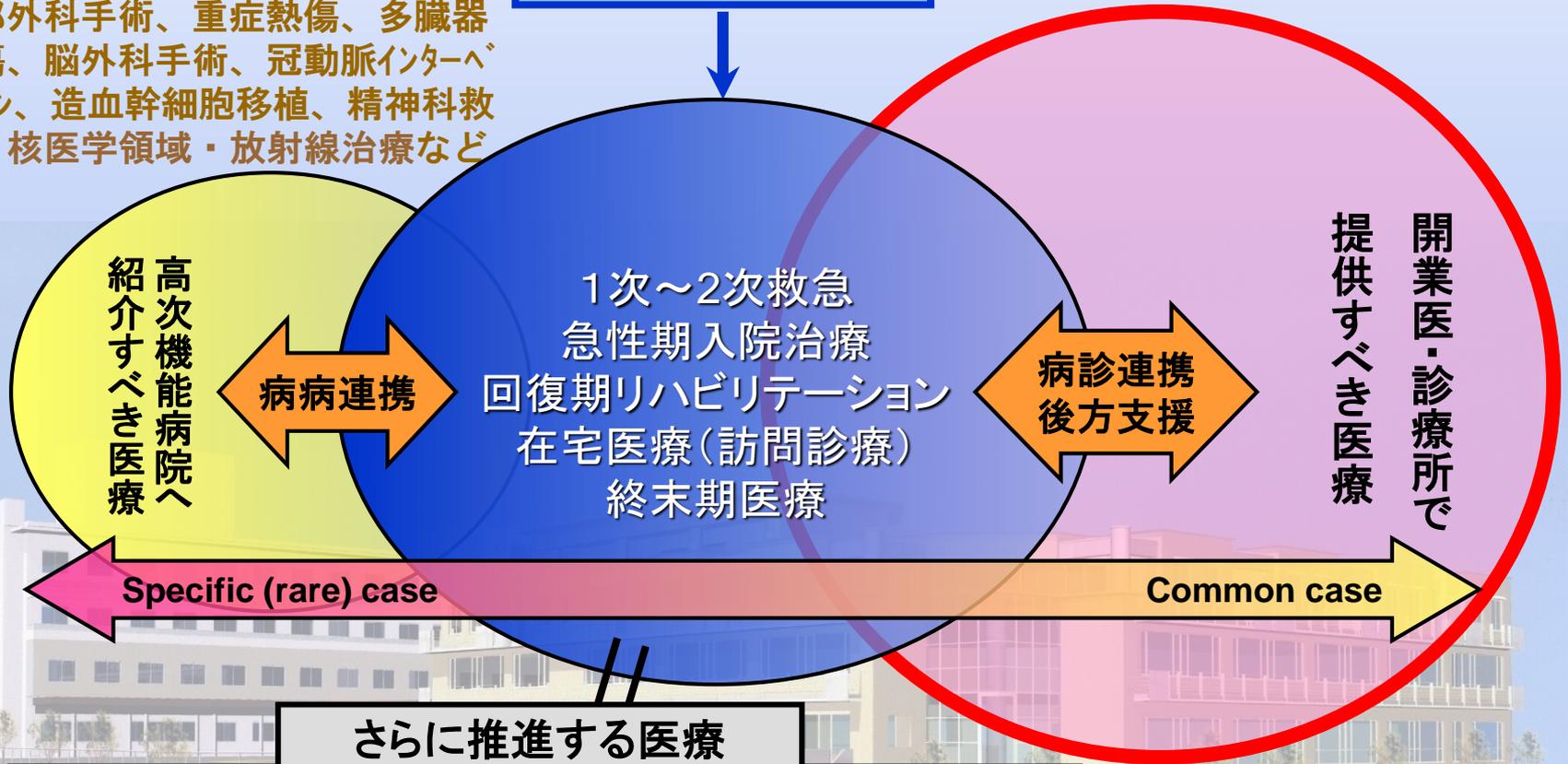
内科系14名(うち総合診療科5名)、外科4名(うち小児外科1名)、
小児科1名、整形外科2名、眼科1名、泌尿器科1名、
放射線科1名、歯科口腔外科1名

合計33名

当院の担う医療

胸部外科手術、重症熱傷、多臓器外傷、脳外科手術、冠動脈インターベンション、造血幹細胞移植、精神科救急、核医学領域・放射線治療など

当院が担う医療



生活機能向上(介護予防)・地域終末期医療ケア体制構築
糖尿病、脳卒中、認知症の総合診療体制構築
慢性呼吸不全支援対策、心房細動・心不全対策など

ランチオンセミナー(毎日開催)

毎日12:00~

月曜日 外来レビュー

火曜日 EBM(NEJM)

水曜日 SEA

木曜日 M&M

金曜日 ポートフォリオ

初期研修医、後期研修医のスキルアップを目的として、お昼にランチオン形式で勉強会を開催しています。

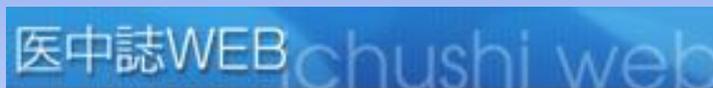
<M&Mカンファレンス>



多彩な医学情報源

～電子媒体、ジャーナル、教科書～

○登録または購入している電子検索ツール



○定期購読しているジャーナル・書籍
(一部抜粋)



著名医師による研修医向け スキルアップセミナーの開催

International Education Seminar
南砺市民病院 国際教育セミナー



Dr. Pauline Pariser
Associate Professor,
Department of Family and Community Medicine,
University of Toronto
(ト론토大学家庭医学部准教授)



Dr. Samir Sinha
Associate Professor of Medicine,
Health Policy, Management and Evaluation,
University of Toronto
(ト론토大学健康政策管理評価学専攻准教授)

University of Toronto

通訳付き!

Dr. Pauline Pariser
Family Medicine in Canada
カナダの家庭医療について

Dr. Samir Sinha
Acute care of elderly in hospital
病院における高齢者急性期医療

2017. **10.24** (Tue)
17:00-19:00 講堂にて
 南砺市民病院臨床教育・研究センター
 TEL.0763-82-1475



南砺市民病院医学教育セミナー

マツケン合宿2019初夏
in世界文化遺産五箇山



2019/7/13 Sat ~ 14 Sun

臨床推論スキルアップセミナー
 国立大阪医療センター総合診療科
講師：松本謙太郎先生



マツケン合宿タイムスケジュール

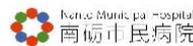
- 13:00 南砺市民病院 出発 (集合場所：時間外窓口)
- 13:45 会場到着 (現地集合可)
- 14:00 マツケンカンファレンス
- 17:00 自由時間 (入浴等)
- 18:30 夕食
- 20:00 マツケンNight (懇親会)
- 翌 7:00 朝食 (終了後現地解散可)
- 8:00 会場出発～市内観光
- 9:30 南砺市民病院 到着・解散

セミナー宿泊会場



五箇山合衆の里
 (南砺市菅沼855)
 現地集合希望者：公共交通機関
 高岡・城端駅 (加越能バス)
 金沢駅 (北鉄バス要予約)

参加費(1泊2食)：一般(医師)・・・3,000円 学生・・・無料
 (日中のマツケンカンファレンスのみ参加の方は無料です)



お問い合わせ・申込先
 臨床教育・研究センター 相田 (南砺市井波938)
 TEL: 0763-82-1475 E-mail: shiminhp@city.nanto.lg.jp

南砺市民病院「闘魂」3本勝負!!
令和元年スキルアップセミナー
 富山県臨床研修病院連絡協議会

第4回スキルアップセミナー

10月25日(金) 18:30~

洛和会丸太町病院

救急総合診療科部長 上田剛士先生



第6回スキルアップセミナー

11月22日(金)18:30~

福島県立医科大 会津医療センター

総合内科学講座教授 山中 克郎先生



第9回スキルアップセミナー

12月13日(金)18:30~

金沢医科大学名誉教授

(浅川総合病院神経内科顧問) 廣瀬 源二郎先生



参加申込不要・模擬患者による診断実技も予定しております!
 多数のご参加をお待ちしています!(軽食準備します)



お問い合わせ先
 南砺市民病院 臨床教育・研究センター (南砺市井波938)
 TEL: 0763-82-1475 E-mail: shiminhp@city.nanto.lg.jp

2. 初期臨床研修の概要

2020年度～研修プログラム(例)

1年目

月	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
期間	24週						12週			4週	4週	4週	4週
研修分野	内科(原則6ヶ月)						救急部門			外科	小児科	産婦人科	精神科

2年目

月	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
期間	4週	4週	4週	40週(4週を単位とする)									
研修分野	一般外来	地域保健	地域医療	選択科目									

※選択科目は当院のほか、市立砺波総合病院・富山大学附属病院・独立行政法人国立病院機構北陸病院・金沢大学附属病院・金沢医科大学病院・富山県立中央病院にて、研修可能な科目の中から選択することができます。

2020年度～研修プログラム（注意点）

初期臨床研修の修了に必要な要件（一部抜粋）

厚生労働省により、以下の事項が定められています。

- 2020年度より、**必修科目が7科（内科、救急医療、地域医療、外科、小児科、産婦人科、精神科）**となり、**一般外来が義務化**されました。
- 初期臨床研修中に**経験と病歴要約**が必須の症候と疾患があります。
- 規定された**到達目標、経験目標**があります（EPOC2によるWeb管理）。

これらをクリアできるプログラムを組む必要があります。

過去に選択された必修以外の診療科（多い順）

1. 内科・総合診療科	南砺市民病院
2. 循環器内科	市立砺波総合病院
3. 脳神経外科	市立砺波総合病院
4. 麻酔科	市立砺波総合病院
5. 整形外科	南砺市民病院、市立砺波総合病院
6. 皮膚科	市立砺波総合病院
7. 神経内科	北陸病院

（その他）腎臓内科、呼吸器外科、放射線科、など

各人のプログラム内容は履修状況により、適宜調整可能です（次項を参照）。

研修プログラム(実例)

平成28-29年度 T先生(研修開始当初)

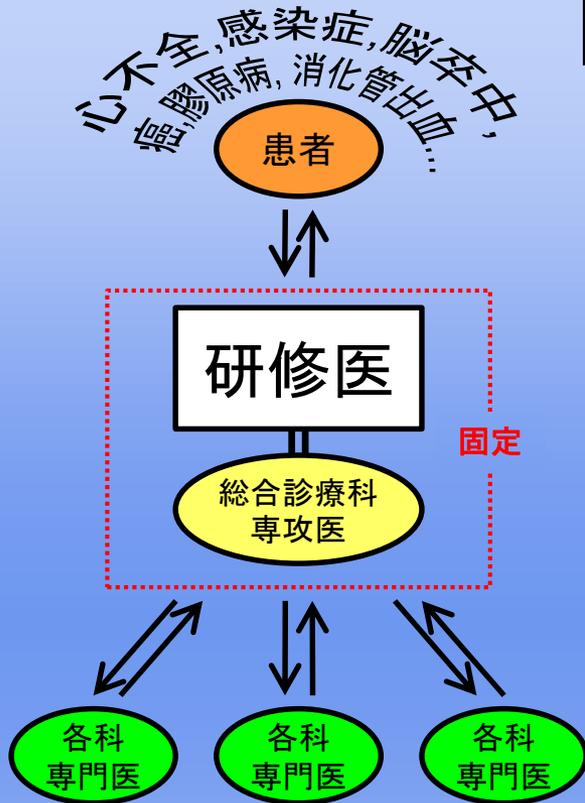
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科						麻酔科	外科	産婦人科	小児科		救急
2年目	救急											

指導医から…
「この時期はインフルの子ばかりみることになるよ？」

半年後に小児科の研修時期を変更

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科						麻酔科	外科	産婦人科	放射線科	循環器科	救急
2年目	救急	小児科	地域医療									

内科研修体制



1. 全内科領域の2次救急診療を網羅するため、総合医と組んで患者を担当する。
2. 救急から病棟、在宅に至るまで首尾一貫して一人の患者の責任をもつ。
3. 常に多職種で議論しながら全人的医療を行う(写真:病棟多職種カンファレンス)。

救急(救急診療)
↓
入院(病棟診療)
↓
回復期(リハビリテーション)
↓
在宅(訪問診療)
看取り

首尾一貫して
経験する



日当直について

研修医全員をランダムに配分
(通常の病院)

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

- 都合が悪い場合に交代してくれる研修医を探して頼む必要がある。
- 生活のリズムを崩しやすい。

曜日固定; 火曜日の場合
(当院)

	日	月	火	水	木	金	土
午前	日直(隔週)						休
午後				休			休
当直			○				

- 予定を立てやすく、生活リズムを崩しにくい。
- 指導医が予定を把握しやすい。
- 当直の翌日午後は原則休み。

地域医療研修(2ヶ月)

ないきいこメディカル



地域に出よう!

へき地診療所(公立)

訪問診療

開業医密着

包括支援センター

訪問看護

訪問リハビリ

健康増進、行動変容

健康管理センター
糖尿病ライフセンター

いきいき
健康教室

訪問診療

平成17年6月3日 北日本新聞1面記事

きよこのタ刊

1面きつと見つかる働きがい 先輩社員のメッセージ集

今月中にも成立見通しの改正介護保険法は、在宅介護の重視を打ち出し、医療と福祉の連携による高齢者支援態勢の整備を求めている。法改正に先駆け、南砺市民病院（同市井波、倉知園院長）が、在宅介護支援センターと協力し、医師の定期的な訪問で高齢者の健康管理を続ける取り組みは、全国でも先進的な例として注目されている。

在宅介護 医師が支援

南砺市民病院 法改正に先駆け実施

介護が必要な高齢者は、病気の後の後遺症を持つケースが多く、医師による定期的な健康チェックが欠かせない。介護保険制度では、医師が高齢者に向く訪問診療がサービス項目にあるが、医師が継続して診察に向く態勢を整えるのが難しいことから、需要はあっても利用は少ないのが実情だ。

最期みとるケースも

南砺市民病院は平成17年、高齢患者へのアンケート調査で、大半が自宅での介護を望んでいることから、同年の介護保険制度導入に合わせ、医師が在宅介護支援に加わる態勢を整えてきた。病棟と併設した訪問看護ステーションや、要介護者へのサービスを提供する在宅ケアプランを策定する在宅介護支援センターと連携し、四人の内科医による定期的な訪問診療のほか、訪問看護リハビリ、治療食の提供など、さまざまなサービスを本人や家族が望む限り続けることとしており、これまで点滴や人工



在宅介護の理想を叶えるために

- 総合診療科医師5名が各々週1回ずつ通院困難な重度障害患者を訪問している。
- 自宅で看取りを行うこともある。
- 患者さんの生活に直に触れ、社会的側面を中心に改めて学ぶことも多い。
- ご家族にはとても感謝される。



歯科医師による訪問診療も行っています

地域ワイド 食べる力長く維持



高齢者宅 口腔ケアを充実

南砺市民病院 報告 2013

その他、当院で経験できること

- 「拡大カンファレンス」、「コントDE健康」をはじめとする多職種の人々との強い連携の場。
- 多職種で診療上の問題点克服に挑む臨床研究。
- 人生の終末期をどのように扱っていくかを真剣に議論する臨床倫理。



地域の安心づくり

-2020年度よりドクターカー運用開始-



南砺市民病院（南砺市井波、清水幸裕院長）は新年度、ドクターカーの運用を始める。医師による早期の応急処置により救命率アップを目指すほか、終末期の対応は書面などによって意思確認ができるケースに限り、本人が望まない延命治療を差し控えることも視野に入れ、一人一人に合わせた「人生の最終章」をもに実現する。

（南砺総局長・富田求）

県内では、高岡市などが病院と協力を結んでドクターカーを運用しているが、いずれも救急車に医師が同乗するスタイルで、病院が専用車両を導入する例はない。南砺市民病院は、終末期の対応を視野に入れた取り組みについても「他に聞いたことがない」としている。

終末期では、一時的に死期を延ばすことで患者に苦痛を与えないケースがある。本人が延命治療を拒否しているにもかかわらず、突然の体調悪化に動転した家族が19番通報したばかりに、そうした事態を招き、後悔の念を募らせることもある。また、救急員が現場で家族から心肺蘇生や延命治療を望んでいないことを知り、それ、自分の任務と患者の意思とのほまを揺れることもある。

南砺市民病院にドクターカー 望む治療 救急で実現

南砺市民病院は、ドクターカーの医師が救急現場で終末期に立ち会うことで、本人が望まない延命治療を避け、家族の心理的負担軽減にもつながる。延命治療を差し控えるかどうか検討するのは、院内カンファレンス（あらかじめ終末期と認定され、意思確認できただ、作成に寄りかた）に

南砺市民病院は、ドクターカーの医師が救急現場で終末期に立ち会うことで、本人が望まない延命治療を避け、家族の心理的負担軽減にもつながる。延命治療を差し控えるかどうか検討するのは、院内カンファレンス（あらかじめ終末期と認定され、意思確認できただ、作成に寄りかた）に

南砺市民病院は、ドクターカーの医師が救急現場で終末期に立ち会うことで、本人が望まない延命治療を避け、家族の心理的負担軽減にもつながる。延命治療を差し控えるかどうか検討するのは、院内カンファレンス（あらかじめ終末期と認定され、意思確認できただ、作成に寄りかた）に

終末期患者の意思尊重

記載したのは9例にとまの取り組みを進める。ドクターカーの出動範囲は南砺市井波、砺波市庄川間地域を軸とする方向。南砺消防署車分署の要請を受けて出向き、当面は平日の日のみの運用とする。

清水院長は、「導入を足掛かりに、救命や日常的な診療、一人生の最終章」を網羅した地域医療の体系を整えたい」としている。

ズーム 終末期 病気の進行や突発的な事故、老衰などで、回復が見込めなくなった状態。疾患によって身体機能低下の状況が異なり、該当する時期の判断が難しい。

2019年2月11日
北日本新聞地方版記事

臨床教育・研究センター

➤ 院内の研修、臨床研究を充実させるべく、
取り組みを行っています。

BMC Geriatrics

高齢者摂食嚥下障害の臨床研究論文
(日本クリニカルパス学会優秀英語論文賞受賞)

HOME ABOUT

RESEARCH ARTICLE OPEN ACCESS OPEN PEER REVIEW

A comprehensive intervention following the clinical pathway of eating and swallowing disorder in the elderly with dementia: historically controlled study

Masahisa Arahata, Makoto Oura, Yuka Tomiyama, Naoe Morikawa, Hatsue Fujii, Shinji Minani and Yukihiko Shimizu

BMC Geriatrics BMC series - open, inclusive and trusted 2017 17:146 | <https://doi.org/10.1186/s12875-017-0611-1>

© The Author(s). 2017

Received: 5 January 2017 | Accepted: 4 July 2017 | Published: 14 July 2017

Open Peer Review reports

Abstract

Background

Eating problems in patients with advanced dementia are strongly associated with Food and drink intake in people with dementia may be supported by specific interventions of such interventions is backed by almost no evidence. However, assessment (CGA) might potentially clarify the etiology of decreased oral intake

2015年6月4日
北日本新聞→

南砺市民病院・人工栄養法の高齢患者
25% 食べる力維持

チーム医療で成果2倍

高齢者は、認知症が進行すると、食生活が乱れ、栄養不足や脱水状態になる危険性が高まります。南砺市民病院は、認知症高齢者の摂食・嚥下障害を改善し、栄養状態を維持するために、人工栄養法（経管栄養）を導入しました。人工栄養法は、胃管や鼻胃管から栄養液を摂取する方法で、患者の負担を軽減し、栄養状態を維持することができます。南砺市民病院は、人工栄養法を導入して、高齢患者の摂食・嚥下障害を改善し、栄養状態を維持することに成功しました。人工栄養法を導入して、高齢患者の摂食・嚥下障害を改善し、栄養状態を維持することに成功しました。人工栄養法を導入して、高齢患者の摂食・嚥下障害を改善し、栄養状態を維持することに成功しました。

← 2015年6月23日 NHK「おはよう日本」

地域ワイド

南砺市民病院（南砺市井波、清水幸裕院長）は今年、若手医師らの育成を担う臨床教育・研究センターを設立した。医学部生の実習充実を足掛かりに、臨床研修医の確保につなげる。看護師、薬剤師、リハビリスタッフら幅広い人材の育成環境充実にも取り組む。

南砺市民病院 医学生が異職種体験



臨床教育・研究センターは、医療、看護、薬剤師などの実習生を、幅広い学部生の実習環境向上を担う。今年度は若手医師に対し、明を促した。一在在診療や入院力を入れている取り組みの実態を、その取り組みについて情報共有を進め、教育内容充実につなげる。清水院長が臨終時代の昨年度に、14年度は若手生も受け入れている。8日、卒業生も受け入れている。

薬剤師から業務内容について説明を受ける平井さん（左）

南砺市民病院は、今年度、若手医師らの育成を担う臨床教育・研究センターを設立した。医学部生の実習充実を足掛かりに、臨床研修医の確保につなげる。看護師、薬剤師、リハビリスタッフら幅広い人材の育成環境充実にも取り組む。

医師確保へ研修充実

2014年4月16日 北日本新聞

“原因究明”で再び食べる力を

食べて終わる人生のほうが
管で栄養を得ながら終わる人生より

当院での医師研修・学生実習の実施状況

(第3種郵便物認可) 北日本



医療現場で指導を受ける研修医(手前) 南砺市民病院

南砺市民病院

地域医療の極意伝授

南砺市民病院(南砺市井波、清水幸裕院長)が、若手医師の教育の場として注目されている。臨床研修制度(Ⅱ)で、県内の他の病院の臨床研修医の受け入れ依頼が相次ぐ。介護やリハビリとの連携で、手厚い在宅医療サービスを展開してきた実績への評価が背景にある。(南砺総局長・宮田求)

研修受け入れ依頼続々

臨床研修制度で南砺市民病院は「基幹型」として研修医を育てるとともに、「協力型」として期間限定で他病院の研修医を受け入れている。「協力型」の連携はこれまで富山大、金沢大、金沢医科大学付属、砺波総合の各病院だったが、本年度から県立中央、厚生連高岡の2病院が加わった。主に必修科目の地域医療研修(期間1カ月以上)の受け入れを行う。南砺市民病院は看護師やリハビリスタッフ、介護職との職種との連携で、終末期に至るまで在宅患者をきめ細かにケアし、「ひとり」も積極的にに行っている。在宅ケアを軸に医療と介護サービスの一体的に提供する国の「地域包括ケア」を先取りした取り組みと、全国的にも評価される。こうした実績を踏まえ、地域医療研修には、薬剤師や看護師、理学・作業療法士に密着して業務を体験できるプログラムや、症例検討への参加、へき地医療などが幅広く組み込まれている。

臨床研修制度 医師に2年間、病院での研修を義務付ける制度。2004年度に導入され、研修医が病院を自由に選択できるようになった。受け入れ病院として、研修プログラムに基づいて研修医を育てる「基幹型」と、「基幹型」の研修の一部を期間限定で引き受ける「協力型」がある。

医師以外の視点に触れる必要があるので、南砺市民のプログラムの主旨、狩野恵彦総合診療科診療部長は、米大留学で看護師らからリードするチーム医療に触れた経験を踏まえ「多角的な目標を持つことは、(複数の疾患や問題を抱える)高齢者をケアする上で特に大切になる」と、意義を強調する。

県立中央病院も南砺市民の実績から、研修の場にも関わっている。

南砺市民病院の荒幡昌久臨床教育・研究センター長は看護師や介護職員らのコミュニケーションの取り方や、地域の特性によって求められる医療が異なることを学んでもらえればという話している。

しいと判断。本年度は数人を受け入れてもらう。県立中央病院の中心的役割は重症患者向けの急性期医療ではあるが、五十嵐司経営管理課長は「目の前の病気を治すだけでなく、退院後のことも視野に入れられるようになってほしい」と願う。

2019年度実績

基幹型研修医 3名
(次年度 4名予定)

協力型研修医(6病院)
8名・延11ヶ月

医学生実習(3大学)
17名・延26週

病院見学等 20名

2019年5月1日 北日本新聞

3. 初期臨床研修の実際

当院における初期臨床研修

1. 全人的な総合診療を学ぶ
(救急→病棟→回復期→在宅支援)
2. 先進的な地域包括医療を学ぶ。
3. 基本的な手技を学ぶ。
4. 多職種間の交流で社会性を養う。



経験すべき疾病・病態(26疾病・病態)

脳血管障害、認知症、急性冠症候群、心不全、
大動脈瘤、高血圧、肺癌、肺炎、急性上気道炎、
気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、
急性胃腸炎、胃癌、消化性潰瘍、肝炎・肝硬変、
胆石症、大腸癌、腎盂腎炎、尿路結石、腎不全、
高エネルギー外傷・骨折、糖尿病、脂質異常症、
うつ病、統合失調症、
依存症(ニコチン・アルコール・薬物・病的賭博)

T医師(1年目初期研修)の実績

内科研修期間中(4か月)に診断または治療した入院患者

- ・消化器疾患 胃癌、C型肝硬変、肝細胞癌、肝性脳症、偽膜性腸炎
- ・循環器疾患 心不全、急性心筋梗塞、高血圧症、心房細動
- ・内分泌疾患 2型糖尿病
- ・呼吸器疾患 肺炎、気管支炎、睡眠時無呼吸症候群
- ・血液疾患 播種性血管内凝固、悪性リンパ腫、鉄欠乏性貧血
- ・自己免疫疾患 蜂窩織炎、薬疹
- ・脳神経疾患 アテローム血栓性脳梗塞、ラクナ梗塞、認知症
- ・泌尿器疾患 尿路感染症、前立腺肥大症、神経因性膀胱、気腫性膀胱炎
- ・整形外科的疾患 圧迫骨折、脊柱管狭窄症

経験した手技

- ・気管内挿管 2件
- ・CVカテ留置 5件
- ・胸水穿刺 5件
- ・骨髄穿刺 1件
- ・腰椎穿刺 1件
- ・嚥下内視鏡 10件
- ・採血 500件

救急当直時に対応した症例

- ・外傷(頭部切創、大腿挫滅創、指切創、打撲)
- ・脳梗塞
- ・熱性痙攣
- ・総胆管結石
- ・肺炎
- ・内耳性めまい
- ・急性中耳炎
- ・Mallory-Weiss症候群
- ・ARDS
- ・急性腸炎
- ・上部消化管出血
- ・尿路閉塞
- ・感冒
- ・痙攣発作
- ・腸閉塞
- ・低血糖発作
- ・インフルエンザ

K 医師(2年目初期研修)の実績

研修期間中(5か月)に診断または治療した入院患者(人数)

- ・消化器疾患(13) 急性腸炎(5)、閉塞性化膿性胆管炎(1)、便秘症(5)、急性腹症(1)、嘔吐(1)
- ・循環器疾患(12) 急性心筋梗塞(2)、心不全・心原性ショック(5)、高血圧緊急症(3)、失神(VVR)(3)
- ・呼吸器疾患(13) 肺炎(4)、気管支喘息(1)、血痰の鑑別(1)、肺癌(1)、感冒(4)、インフルエンザ(2)
- ・神経系疾患(13) 脳梗塞(2)、くも膜下出血(2)、緊張性頭痛(1)、認知症(7)、痙攣(3)
- ・腎泌尿器疾患(7) 急性腎不全(1)、尿路感染症(1)、尿管結石(1)、尿閉(4)
- ・筋骨格系疾患(3) 肋軟骨炎(1)、関節炎(1)、筋肉痛(1)
- ・耳鼻咽喉科疾患(6) めまい(4)、鼻出血(1)、副鼻腔炎(1)
- ・皮膚科疾患(2) 蕁麻疹(1)
- ・精神科疾患(6) 過換気症候群(4)、不安障害(2)
- ・外傷(19) 大腿骨骨折(2)、前腕骨折(1)、L3横突起骨折(1)、捻挫(1)、顔面外傷(1)、頭部打撲(6)、その他打撲(4)、イヌ咬傷(1)
- ・その他(4) 不明熱(2)、Wernicke脳症(1)、低体温症(1)

新専門医制度における連携状況

内科専攻医プログラム

- ・富山大学附属病院
- ・厚生連高岡病院
- ・金沢大学附属病院
- ・金沢医科大学病院

総合診療専攻医プログラム

2021年4月 当院にて総合診療専門研修プログラム開始予定

- ・富山大学附属病院
- ・洛和会丸太町病院

外科専攻医プログラム

- ・金沢大学附属病院

泌尿器科専攻医プログラム

- ・金沢大学附属病院

病理専攻医プログラム

- ・富山大学附属病院

整形外科専攻医プログラム

- ・富山赤十字病院

地域の病院で研修することの利点

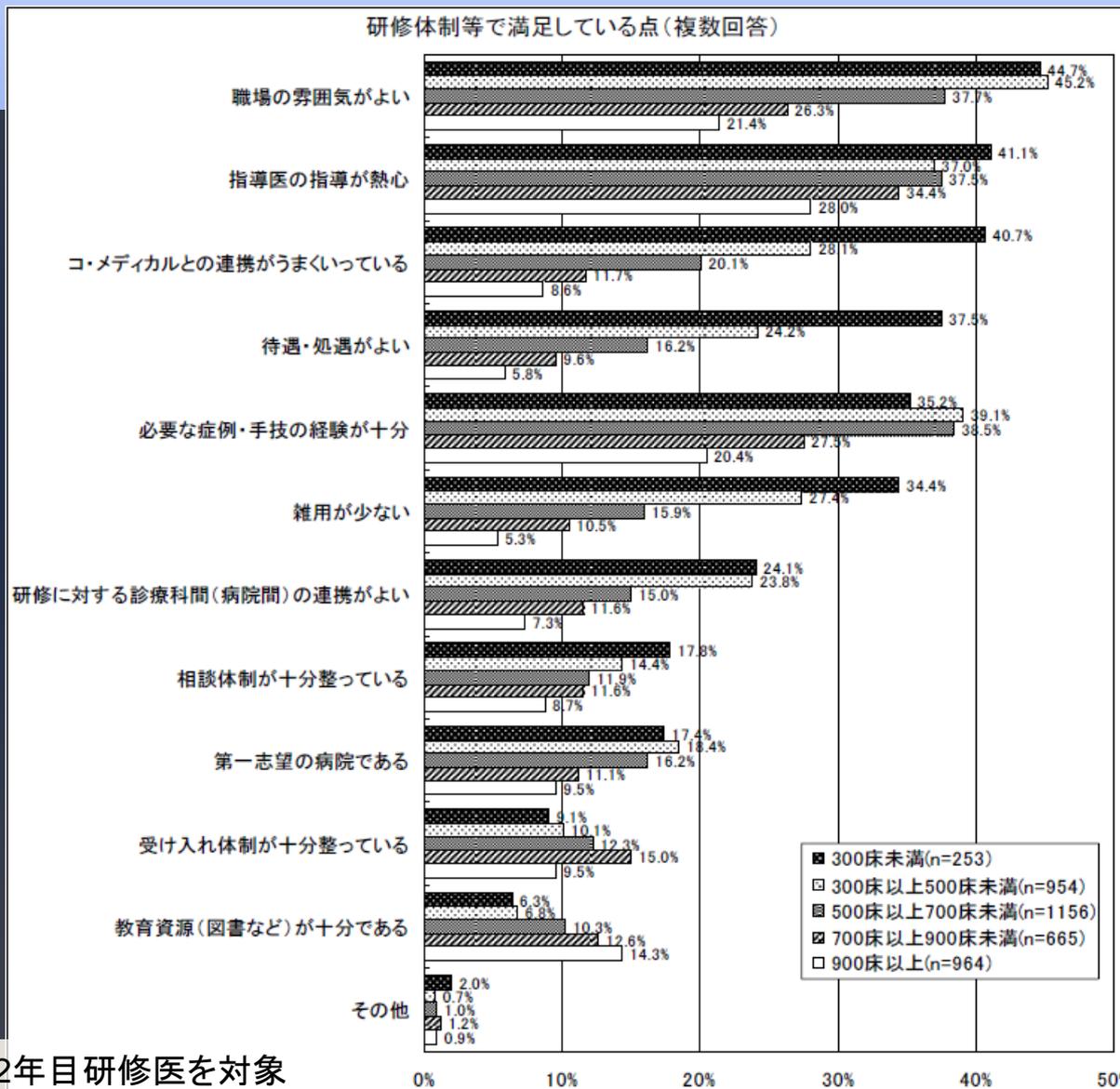
- 高齢者(=合併症が多い)の診療が中心。
⇒診療科の領域を越えて、多種多様な対応が必要となる(診断力up)。偏りのない症例経験の蓄積。
- プライマリケアを行う上での総合的な判断力が身につく。
⇒診療方針を決定には医学的な情報だけではなく、年齢、ADL(QOL)、家庭環境、倫理的配慮などの社会的側面の占める割合が高い。
⇒豊富な社会的知識と人間形成の場。
- アットホームな職場環境。
ローテートにより診療科が変わっても、環境・人間関係は大きく変化しない。学閥がなく、医師間・診療科間の垣根が低い。

地域の病院で研修することの利点

- 研修に対する要望が反映されやすい。

研修の日程、研修に使用する教材、書籍購入、習得したい手技の練習など、多くの希望が叶えられる。

研修医の多い大病院では個人的な主張はなかなか通らない(厚生労働省のアンケート結果に反映)。



南砺市民病院

今日は短い時間ですが、
この南砺市民病院のことを
いろいろと知ってください！



2020年度初期研修医



マツケンセミナー



内科医師の集合写真
(右下は清水院長)